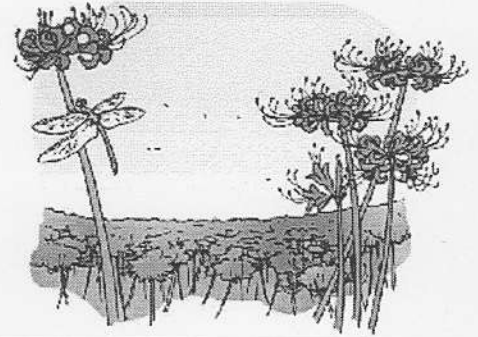


# 碧水だより

平成17年 9月30日 第 7 号  
阿蘇市立碧水小学校 羽 山



めざす子ども像  
仲よくする子、かしこい子、たくましく生きる子

## 10月行事予定表

日	曜	校 内 の 行 事	給食
1	土	郡市学童陸上記録会 (あびか)	×
2	日	阿蘇PTA連合・ひのやま教育実践発表	×
3	月		○
4	火		○
5	水		○
6	木		○
7	金	遠足	×
8	土	秋季交流サッカー大会	×
9	日	4年生親子のふれあい	×
10	月	体育の日	×
11	火	音楽集	○
12	水		○
13	木		○
14	金	芸術鑑賞会 (器楽)	×
15	土	熊本県人権教育研究大会 (~16日)	×
16	日	3年生親子のふれあい	○
17	月		○
18	火		○
19	水		○
20	木		○
21	金	校内描画週間 (~28日)	○
22	土		×
23	日		×
24	月		○
25	火		○
26	水		○
27	木	小学校中部音楽会 (阿蘇市立体育館)	○
28	金	避難訓練 (火災)	○
29	土	郡市ミニバスケットボール選手権大会	×
30	日	郡市ミニバスケットボール選手権大会	×
31	月		○

11月の予定 7日 就学時検診 (未定) 学習発表会

## 勝利にむかって燃え、輝いた！ 天候に恵まれた運動会

二学期になって十分な練習時間がとれない中、台風十四号の影響で二日間が欠けてしまいました。仕上がりが心配されましたが、急きょ振替休日を変更することで練習時間を確保し、当日を迎えることができました。その成果もあって充分すぎるほどの仕上がりました。特に児童による応援団も工夫と努力を重ねて本当に立派な演技を見せてくれました。

### 入場行進で開会式

児童会長の荒木すみれさん、先頭に入場行進が開始されました。校旗を児童会長の宮崎慎太郎さんが持ち、白団団長川上まりなさん、赤団団長江藤よしま

さきんを先頭にして六年生から一年生まで前日までの練習の成果を発揮し、整然と行進開会式に臨みました。

開会式では一年生のくどうたいとくん、おつかきやかきん、きくちなおきさん、あそききん、うかさんが開会の言葉を言いました。

続いて、校長が「一人ひとりの手で作り上げた運動会です。自分たちで楽しむことも大切ですが、おうちの方々に元気がぐんばっている姿をしっかりと見せてください」とあいさつをしました。

その後宮崎PTA会長や来賓の方々のあいさつがあり、競技が開始されました。



四年生以上は係や役員の仕事に忙しく、ゆっくりと競技を見る余裕もないほどでしたが、一年から三年生は児童席で良く応援をしていました。

「今年の運動会も『力カシ』勝利にむかって燃える赤団！かがやけ白団！ネバギブアップ！エンジンヨイ碧水っ子！」のスローガンを全児童からのアンケートを取り決めました。

今年には役犬原小学校と統合して初めての運動会で、何事も初めてとあってテントの位置、競技内容とずいぶん苦労しましたが、どうにか無事終了することができました。

特に最後の虎舞は全員が大感

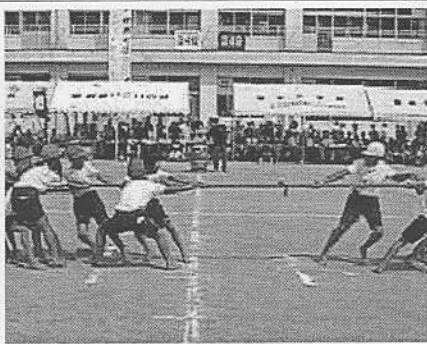
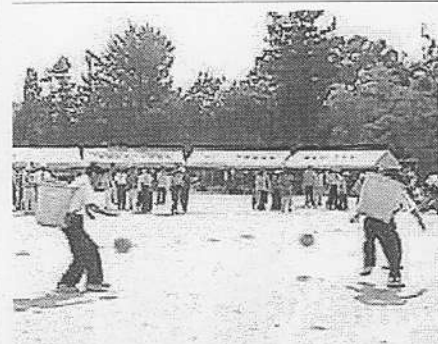


燃えました

部落対抗リレーでは一年生から六年生までの六名と大人七人でチームを組んで走りました。まだまだ若さあふれるお父さんお母さん方です。すばらしい走りを見せてくれました。



午前中前半の競技は徒走で、どの学年も得点種目とあって、最後まで全力を尽くして走りまわりました。



激、昨年までの形式に加え、今年には役犬原太鼓をアレンジした内容で深みと迫力を増し演技にも熱が入りました。

### 阿蘇郡市童話発表大会

阿蘇郡市二十三校を代表する低学年と高学年それぞれ三十三名の合計六十六名の児童が、内牧小学校体育館に集まり阿蘇郡市童話発表大会が九月二十六日に開催されました。

本校からは低学年の部に三年生の森祐歌さん、高学年の部に六年生の西岡美里さんが出場しました。

低学年、高学年共に三部会に分かれて第一次予選が午前中に行われました。

各学校を代表して出場してきただけあってどの発表もとてもすばらしいものばかりでした。

審査では童話の内容と感動的であるか、発表態度として落ちついて話しているか、単なる暗唱でなく聞き手に話しかけているか、表現として言葉がはつきりとしているか、自分の話として話しているか等が審査されました。



### 保護者からのメール

運動会お疲れ様でした9/17日は、統合後初めての碧水小学校での運動会でした。天候にも恵まれ、快晴！快晴！眩しい太陽の光に包まれて開会致しました。今までは違う雰囲気、少々親子戸惑いもありましたが、いざ運動会が進行すると、何のそのー子供、大人大活躍ー！懐かしい「役太太鼓」の演舞。少しウルウルしました。（中略）

運動会の準備、練習等に先生方も大変だったと思います。怪我、事故無く無事に終了出来て良かったですね。お疲れ様でした

### 学校からのお願い

毎年この時期になると生徒指導上の諸問題が発生しやすくなります。

大津町や菊陽あるいは熊本市まで子どもたちだけで買物や遊びに行きトラブルにあうという事例です。学校でも心配しています。

原則的に子どもたちだけで阿蘇市外への外出は禁止しています。

列車やバスあるいはショッピングセンターなどで、恐喝や万引きなどのトラブルに巻き込まれやすい事など、生徒指導上の問題に発展しやすい危険性があるからです。必ず保護者が成人が同伴することをお願いしています。

子どもたちにもしつかりと指導しましたので、ご家庭でも是非ご協力お願いいたします。

本校から出場した二人とも二次予選を見事に突破し、午後の二次審査会に進みました。二次では低学年三名、高学年三名の六名が発表しました。

二人とも発表態度や表現力共にたいへんすばらしいと評価を受け、最終選考まで残りましたが、ごくわずかの差で、残念ながら県大会に出場することは出来ませんでした。



### 特別支援教育とは

特別支援教育とは、障害のある児童生徒を通常学級に在籍させ必要に応じて「特別支援教室」で指導することを指す制度で、文部科学省は二〇〇七（平成十九）年度までに全国の小中学校での体制整備を目指しています。

小中学校での支援対象は、通常学級で学習や行動面で特別な配慮が必要な「軽度発達障害」の子どもたちです。

文部科学省の調査によると、軽度発達障害など義務教育段階で特別な支援を必要とする子どもの割合は全体の六・三％。四十人の学級で二、三人が居り、全校的な体制整備が急がれる状況となっています。

先進国では、特別な支援を必要とする児童生徒には以前から様々な手だてが講じられてきましたが、日本では養護学校や特殊学級に在籍し特別な支援を受けている児童生徒はごく一部で、その他の児童生徒は普通学級に在籍し特別な支援は難しい状況です。

このような児童生徒に対して一人ひとりに適切な教育や指導をする体制を作るための制度が「特別支援教育」です。

「軽度発達障害」にはLDと呼ばれるものがあります。これは全体的に知的発達に遅れはないが、聞く・話す・読む・書く・計算する等のうち特定のものに著しい困難を示すというものです。

もう一つはADHDと呼ばれる注意欠陥・多動性障害です。これは年齢や発達に不釣り合いな注意力や衝動性多動性を特徴とする障害です。どの学校にもこのような軽度発達障害の児童は存在します。

碧水小学校では、平成十七年度特別支援教育体制推進事業の指定を受け、校内推進委員会を設置すると共にコーディネーターを中心とする取組を進めています。



### あいさつができる 礼儀正しい

人間として一番大切なこと、小さいときから、しっかりと身につけたいですね

あいさつは相手の顔と目を見て、笑顔で、大きな声で元気よく！

